

一般質問

会派正式名称

【自由民主党】

鳥取県議会自由民主党

【民主とっとり】

鳥取県議会民主とっとり

【公明党】

公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のもの（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

9月定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会

検索



安田 由毅
議員



選挙区 境港市
会派 自由民主党

境港の水産業と米子空港の輸出促進

問 回復傾向にある水産資源を境港の漁業、水産業全体で活かしていけるよう県として今後の境港の水産業振興をどのように考えているか。

答 改革プランを作成し臨む必要がある。冷凍・冷蔵施設の更新問題など浜の機能の在り方について「さかいみなと漁港・市場活性化協議会」で地元関係者と協議の上で今年度中期的ビジョンを作成する。

問 国際便での食品輸出促進のために米子空港に冷凍・冷蔵大型保管庫が必要では。

答 理想としては必要。現状は周辺の既存施設を利用する。



福田 俊史
議員



選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

スポーツを通じた高校の魅力化と地域活性化

問 鳥根県立大社高校が甲子園で活躍したように、スポーツ活動は高校の魅力を高め、歴史と伝統を形作ると考えている。高校スポーツを再興し、各高校の特色や魅力を磨き上げ、地域活性化を進めていくべきではないか。

答 同感。各高校を目指す子どもたちは地域の活力の源にもなる。スポーツを通じた高校の再興に協力していく。**（教育長）** スポーツや文化活動、手話などの社会活動は高校生を輝かせる。そのことを大事にしながら、高校の在り方の検討を進めていく。



前原 茂
議員



選挙区 米子市
会派 公明党

①県内農業振興 ②動物愛護

問 ①昨年の米の高温障害は日本海側で顕著である。高温障害に強い星空舞への品種転換を急ぐべきである②県内の狂犬病予防接種率を見ると、一部の地域で60%台と低い。接種率向上に向けた対応を伺う。

答 ①星空舞のブランドが浸透していない。星空舞の浸透を図るとともに、高温障害に耐える米を推進していく②犬の実数を管理していく、これは行政実務の問題である。届出をよく整理をして、タイムリーに管理していく。



語堂 正範
議員



選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

梨のカメムシ対策 やきとりJAPAN

問 梨などのカメムシ被害を防ぐ手段として網かけは有効。継続的支援が必要では。

答 網かけは効果がある。もう少し踏み込んだ助成制度を検討したい。

問 来年、やきとりJAPAN フェスティバルin倉吉が開催される。鳥取県の畜産はブロイラーが大きなウェイトを占めている。農業振興として県が支援するべきでは。

答 焼き鳥を通じた農業振興も含め県も是非、前面に立って応援したい。経済効果をもたらすイベントになればいいと思う。



島谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

障がい者に対する親なき後の支援について

問 親なき後、障がい者が地域で安心して暮らすための相談支援体制やグループホームなど地域生活拠点の機能充実等の課題への取り組みは。

答 指摘された論点を丁寧にクリアすることが重要。親なき後問題の課題や効果的取り組みについて今後の方向性を出す協議会を関係者、当事者団体、市町村などと立ち上げ新年度以降さらなる前進を図っていく。施設整備については国に引き続き予算確保を要望し、協議会で人材育成を含めた単県の制度も視野に入れながら検討を進めていく。

 **村上泰二郎**
議員

選挙区 西伯郡
会派 民主とっとり

**教員確保・カメムシ・
原発再稼働**

問 ①2年連続で採用予定数を確保できなければ教育への影響は甚大。来年の教員採用予定は②カメムシ被害に営農継続支援を③原発再稼働は地元同意が必要な制度設計すべき、安全性確保・地域振興・信頼関係が必要。

答 ①(教育長) 昨年度は辞退者が多く予定数に不足した。今年度は覚悟を持って1人でも多く確保していきたい②来年以降被害がない対策を作り上げる③周辺地域は同意のメッセージよりも意見を述べ続けていくことが大切。今後もしっかりと見極める。

 **河上 定弘**
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

○**道路交通網の整備**
○**介護人材確保の取組**

問 ①新米子アリーナや山陰自動車道4車線化などの交通量増加を見越し、米子駅北口と車尾を結ぶ新規ルート整備が期待されるがどうか②自衛隊道路の未整備区間について慢性的な渋滞路線と交通安全の観点から事業実施を急ぐべきでは③慢性的な介護人材不足にどう立ち向かうか。

答 ①国道9号の渋滞緩和なども含め利用度が高い路線となるので精力的に協議を進めたい②鋭意進捗を図りたい③業界の意見を聞きながら、新年度の介護人材の確保・育成に向け、協議を進めたい。

 **前住 孝行**
議員

選挙区 八頭郡
会派 無所属

①**林業の皆伐再造林**
②**都市部との連携**

問 ①急峻な土地で、皆伐再造林に適さない地域の再造林の進め方は②森林環境譲与税の対象事業を都市部と連携することについて所見は。

答 ①一遍に全部切っていくのではなくて、皆伐して植え替えて徐々に進める。それでなかなか難しいところは間伐を中心にやっていく。まだら模様で山と付き合っていく②このマッチングをこれから積極的にやっていくのが大切だと思う。我々も山としての売出しを大都市部の市町村向けにやっていくことは、これからのポイント。

 **市谷 知子**
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**優生保護法・万博対応・
淀江産廃・島根原発**

問 ①旧優性保護法に県も加担。知事謝罪を②子ども医療費無料化止める自治体に金出すと言う国通知の撤回。県は無料化止めるな③大阪関西万博会場はガス爆発やカジノ計画。修学旅行の事故は万博促進した知事が責任とるか④淀江産廃計画の軟弱地盤。知事知らなかったと言うが地下水が影響受けかねず、進めるのか⑤被爆する島根原発の避難計画だ。知事は再稼働容認か。

答 ①見守る②県無料化は継続③万博協会の責任④影響あれば許可しない⑤同意の言葉にメリットあるか疑問。

 **山川 智帆**
議員

選挙区 米子市
会派 無所属

**島根原発～周辺自治体
として何が出来るか～**

問 ①安定ヨウ素剤の事前配布の検討は②島根原発に係る交付金について、島根県(1,426億)と鳥取県(65億)で交付額に差がある。両県民の命を守るために島根県も含め国と中電に協議できないか。

答 ①事前配布の方法について、事前配布を受けたい方に確実に届くような全国的な工夫を受け止めて、検討する②今後、国に原子力発電所についての要請や中国電力に意見を返す中で、安定ヨウ素剤の問題等、議会の意見を尊重して提出していくべきと思う。

 **銀杏 泰利**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

**鳥取県らしい
やき鳥文化を**

問 蟹取県、星取県などと言わずに鳥取県は鳥だ。全国で鳥の名がつく県名は鳥取県だけ。やきとりJAPANフェスティバル2025in倉吉を発火点にやき鳥文化をつくりたい。県名の由来を知り、鳥と関わり、ヘルシーでおいしい鶏を食する文化、やき鳥文化を花開かせたい。

答 まさに同感、全面的に協力したい。ブランド化していくのも面白い。プランを練っていききたい。単なるやき鳥フェスティバルという以上に波及効果が高く、実行委員会の中に県も参画したい。



鳥羽 喜一
議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

①中部療育園の改善
②労働市場の流動化

問 ①発達障がい等の子どもの診療を行う中部療育園は、受診者が数年で約3倍と急増していることから初診の案内が2カ月先であり、診療体制を整える必要があると考える。

答 ①円滑な治療等が受けられるように、体制を強化する。

問 ②アルムナイ制度(※)を県庁の人事制度に導入し働きやすい職場をつくり、民間事業所の労働市場の流動化の素地を作ることが出来ないか。

答 ②出戻りをおおらかに認めるアルムナイ制度を導入する値打ちはある、運用方法などを検討していく。



前田 伸一
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

産業人材確保、日韓国際交流、障がい児対策

問 ①若者の県内就職推進の観点から中山間地域の高校や専門高校の魅力化、生徒数確保の強化を②江原特別自治道との教育交流を開始して30年を迎える。子どもたちの相互交流を更に深めるべき③放課後等デイの重度障がい児の受け入れ確保策は。

答 ①(教育長) 地域が求める人材育成に今後も取り組む②(教育長) 子ども同士が国境を越えて夢のある交流事業になるよう中身を練りたい③国への報酬拡充の要望と併せ来年度に向け施設の充実を図れるよう検討したい。



尾崎 薫
議員

選挙区 鳥取市
会派 民主とっとり

①健全な選挙条例
②社会福祉審議会

問 選挙条例案の提示までは超特急。市町村と丁寧な合意が必要。選挙の侵害行為の停止は県も協力してするのか。

答 議決されたら説明会をし連携して運用に当たる。

問 R3年の児童施設での自死事案に関し社会福祉審議会は2次検証会設置を決めたが、その初回が10か月後だった。余りに遅い。また児童福祉審議会の独立後も障がい児、ヤングケアラー等に鑑み福祉審議会と連携が必要。

答 審議会を開き検証会議の概要報告をする。審議会の審議・諮問方法を工夫する。



山本 暁子
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

男女共同参画
10年後の農業

問 誰もが共同参画できる社会づくり計画の自己評価と今後の展開は？子どもたちに向けた意識醸成の取り組みは。

答 一定の成果が今みられつつある。鳥取県としても地域社会を挙げて立ち向かう。

問 スマート農業には圃場や通信環境整備の視点が必要だ。

答 ご指摘のように視点の違うアプローチをスマート農業が必要としていることを新年度予算に向けて再考する。

問 種子生産はブランド化して売り出すのもひとつの手。

答 地元の皆様と話し合い、検討会で議論をまとめていく。



西村 弥子
議員

選挙区 米子市
会派 無所属

①選択的夫婦別姓②インド交流③主体的教育

問 ①制度の早期導入への考えを②州・地方政府との友好提携と交流を。知事は訪問するのか③子ども自治や人権尊重の主権者教育が重要では(教育長) 自己肯定感を高めるため公教育が変わるべきでは。

答 ①差し支えないと考える。十分な議論を加速するべき②多様な言語など困難な面はあるが、パイプを広げ交流拡大を目指す。訪問はタイミングを見て協議③主権者教育プログラムを検討中(教育長) 子ども主体の教育にシフトチェンジすべきだ。今後も取組をさらに進めていく。



鹿島 功
議員

選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

高校教員の産業教育手当について

問 産業教育手当が全国で本県だけ支給されていない。専門教員の必要性や現場目線に立ち返りつつ、産業教育手当の復活と待遇改善について現状をどう認識されているのか。今、この手当の在り方を見直すべきではないか。

答 当時の議会の議論もいま一度精査する必要はある。教育委員会の検討に沿って、今後協議を進める。

(教育長) 再支給に向けての検討を進めている。特殊勤務手当とのバランス、兼ね合いを含め協議が必要である。関係機関と前向きに進めたい。

※アルムナイ制度…自社の退職者を対象にして選考を行い再雇用する制度。

興治 英夫 議員 

選挙区 倉吉市
会派 民主とっとり

東京一極集中、地方の衰退を止める抜本策を

問 地方創生10年。政府機関の移転は文化庁のみ。地方創生交付金含め財政規模も小さく、東京一極集中、地方の人口減少を止められなかった。首都機能移転や、企業の地方分散のため、大企業の法人税率を首都圏と地方とで違えるような抜本策が必要では。

答 政府機関移転のやり残しはある。企業の地方分散の税制を導入すべきと、知事会で提案した。今後の大きな課題で、中央の政治行政に経済界も含めて、大きな議論が必要。手ごたえもある。鳥取県が提案し、議論をリードする。

福浜 隆宏 議員 

選挙区 鳥取市
会派 無所属

①原発対策②県立高校体育館のエアコン整備

問 ①原子力災害時、道路復旧等にあたる作業員の被曝量に関する取り決めはあるのか②小中学校と違い県立高校体育館は避難所でないため、空調整備は全額が県負担。不可欠な教育環境として国要望を。

答 ①放射性物質の拡散前に作業を終え、拡散後は自衛隊への応援要請を想定しているが、今後業者と相談していく②(教育長)三位一体改革で打ち切られた補助金復活を求め要望を続けるが、冷却範囲が広く安価で消費電力も少ない「気化熱扇風機」を試行的に米子工業高校へ導入し、検証。

玉木 裕一 議員 

選挙区 鳥取市
会派 無所属

物価高騰と給食無償化 公共施設の共同整備

問 物価高騰が続き学校給食の地域間格差は広がる。国による一律の無償化を進めるためにも、まずは県が時限的でも、段階的でも無償化への第一歩を踏み出して欲しい。

答 子どもたちの施策は納得と共感を得ながら市町村とコンセンサスをつくっていく。

問 公共施設の整備は、真に住民のために行うべきであり行政の視点で縦割り整備があってはならない。県が包括的に市町村との共同整備を進めていくべきだ。

答 一定のリーダー役なり調整役をいとわずやっていく。

議員の辞職のお知らせ

内田隆嗣氏(米子市選挙区)が8月27日付けで議員辞職しました。

information

県議会からのお知らせ

11月定例会の日程案

期日	日程
11月28日(木)	本会議(開会・提案理由説明)
29日(金)	常任委員会
12月2日(月)	本会議(代表質問)
4日(水)	本会議(一般質問・質疑)
5日(木)	
9日(月)	
10日(火)	
12日(木)	
13日(金)	
17日(火)	常任委員会 特別委員会
18日(水)	特別委員会
19日(木)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからもご覧いただけます。
また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは
こちらから→



みなさまへ

議会だよりは、副議長を委員長とする議員で構成された委員会にて、表紙の写真の題材から議場での質問に渡るまで、一言一句推敲しながら編集されております。

議会だよりへのご要望やご提案は何なりとご相談ください!
(広報委員T)